

(参考1)

産業構造審議会 環境部会 廃棄物・リサイクル小委員会
国際資源循環ワーキング・グループ委員名簿

敬称略(50音順)

(座長)

細田 衛士 慶応義塾大学経済学部長

(委員)

荒木 恒美	日本通運株式会社環境部長
石井 和男	社団法人全国都市清掃会議専務理事
石井 邦夫	株式会社市川環境エンジニアリング代表取締役
石川 雅紀	神戸大学大学院経済学研究科教授
大鶴 英嗣	松下電器産業株式会社常務取締役
大和田 秀二	早稲田大学理工学部教授
熊野 英介	アマタ株式会社代表取締役社長
小島 道一	アジア経済研究所新領域研究センター研究員
酒井 清	株式会社リコー常務取締役研究開発本部長
崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
塩谷 嬉雄	日本経済新聞社論説委員
鈴木 泰次	日本電気株式会社執行役員専務
辰巳 菊子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会理事
中島 賢一	株式会社リーテム代表取締役社長
藤井 美文	文教大学国際学部教授
松尾 正洋	日本放送協会解説委員
棕田 哲史	社団法人日本経済団体連合会環境・技術本部本部長
渡邊 謙一	同和鉱業株式会社代表取締役・COO(最高執行責任者) 兼 エコビジネス&リサイクルカンパニープレジデント

(オブザーバー)

牛嶋龍一郎	国土交通省港湾局環境整備計画室長
橋詰 博樹	環境省廃棄物・リサイクル対策部適正処理・不法投棄対策室長

(事務局)

経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課

(参考2)

産業構造審議会 環境部会 廃棄物・リサイクル小委員会
国際資源循環ワーキング・グループ審議経過

【第1回ワーキング・グループ】(平成16年6月18日)

- ・事務局による検討事項の説明及び参考資料集の説明
- ・委員によるフリーディスカッション

【第2回ワーキング・グループ】(平成16年7月13日)

- ・渡邊委員による報告
- ・小島委員による報告

【第3回ワーキング・グループ】(平成16年7月29日)

- ・国土交通省(オブザーバー)による報告
- ・酒井委員による報告
- ・大和田委員による報告
- ・井内リサイクル推進課長による出張報告

【第4回ワーキング・グループ】(平成16年8月24日)

- ・大鶴委員による報告
- ・中島委員による報告
- ・事務局による骨子案の説明

【第5回ワーキング・グループ】(P)(平成16年10月5日)

- ・委員コメントの紹介
- ・事務局による報告書案の説明

(参考 3)

2004 年 G 8 サミット文書

持続可能な開発のための科学技術：「3R」行動計画及び実施の推進（抜粋仮訳）

3R（発生抑制、再使用、再生利用）イニシアチブ

我々は、発生抑制、再使用、再生利用（「3R」）イニシアチブを、日本政府が 2005 年春に主催する閣僚会合において開始する。OECD 等の関係国際機関と協力し、我々はこのイニシアチブを通じて以下のことをめざす。

- 経済的に実行可能な限り、廃棄物の発生を抑制し（Reduce）、資源及び製品を再使用（Reuse）・再生利用する（Recycle）。
- 既存の環境及び貿易上の義務及び枠組みと整合性のとれた形で、再生利用・再生産のための物品及び原料、再生利用・再生産された製品、並びによりクリーンで効率的な技術の国際的な流通に対する障壁を低減する。
- 自発的な活動及び市場における活動を含め、様々な関係者（中央政府、地方政府、民間部門、非政府機関（NGOs）及び地域社会）の間の協力を奨励する。
- 3R に適した科学技術を推進する。
- 能力構築、啓発、人材育成、及び再生利用事業の実施等の分野で途上国と協力する。

2004 Summit Document

Science and Technology for Sustainable Development: "3r" Action Plan and Progress on Implementation (excerpt)

Reduce, Reuse and Recycle Initiative

We will launch the **Reduce, Reuse, and Recycle** ("3R") Initiative at a Ministerial Conference in spring 2005 hosted by the Government of Japan. In cooperation with relevant international organizations such as the OECD, we will seek through this initiative to:

- Reduce waste, Reuse and Recycle resources and products to the extent economically feasible;
- Reduce barriers to the international flow of goods and materials for recycling and remanufacturing, recycled and remanufactured products, and cleaner, more efficient technologies, consistent with existing environmental and trade obligations and frameworks;
- Encourage cooperation among various stakeholders (central governments, local governments, the private sector, NGOs and communities), including voluntary and market-based activities;
- Promote science and technology suitable for 3Rs; and
- Cooperate with developing countries in such areas as capacity building, raising public awareness, human resource development and implementation of recycling projects.